

平成22年度 第2回CCC政治学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 : 平成22年9月28日(火) 10時から12時まで

II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者 : 萩原委員、川島委員、吉岡アドバイザー
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、渡邊職員

IV. 議事概要

1. 学士力の考察について目標を達成するための効果的な授業デザインを検討し、今年度2から3例教育モデルを作り上げるために、今までの教育の中から問題点を抽出し、望ましい教育の在り方を模索するための議論を行った。
 - ・ 基礎知識を身につけるのはICTの活用が可能だが、基礎知識をもとに知恵をつけるのはアナログである。従来の教育の原点ではないかとの意見に対し、ICTの効果は時間の短縮に有効である。最大の問題は就職活動による大学教育のプログラムが1～2年で単位をとる仕組みによることであり、制度の問題が指摘された。
 - ・ レジメの密度レベルを上げると学生はレジメに頼り答案レベルが下がっている現状である。学生が大学に求めるものは英語力、プレゼン力。必要なのは理解力、コミュニケーション力であるとの意見に学びの動機づけが必要ではないかとの意見がでた。
 - ・ 掲示板活用について自分以外のコメントを同時に見れる点が良い。学生のファシリテーターや簡単なフィードバックをソフト面でできるものがあれば利用することで効果がある。
 - ・ 多様性と民主主義で自分の意見を発信し、その内容に対してフィードバックがあることは政治学に使える。ICTの活用が他分野と同じような仕組みでもテーマが違う。政治学の訓練ができるのではないかとの意見に、学士力1で政治学概念の説明のあと、救済レポートで具体的な事例を出させているが、教員からの指摘だけではなく、掲示板で仲間からの意見を交換させる仕組みで効果があるのではないかとの提案があった。
 - ・ 以上の意見から電子掲示板を効果的に使うところで授業モデルを検討できないかとの提案があり、掲示板の活用について以下の利用方法が提示された。
半期に20冊読書させ、コメントをWEBに出させることで他者の考えを理解できる。
ICTの使い方について教員同士もどのような授業が行われているか、あまり知らない。教員の教えている内容を蓄積すれば膨大な資料を共有できるのではないか。

以上のことから、資料②にあわせて学士力1について、以下の内容について案を持ち寄ることとなった。

- ・ 掲示板を使った教育モデル
- ・ グループワークを取り入れた教育モデル

V. 次回の開催日程 ; 11月29日(月)または11月30日(火) 10:00～12:00